

急増中！リチウムイオン電池の火災



携帯端末など外出先でも充電できるモバイルバッテリーなどが急速に普及し、これらに使用されているリチウムイオン電池からの火災が増加しています。

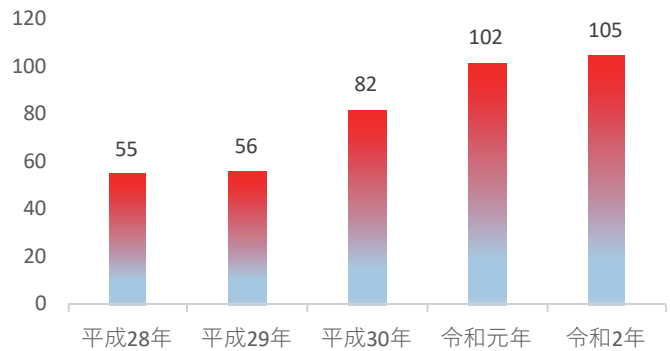
リチウムイオン電池が使用されているもの



リチウムイオン電池は、充電方法を誤ったり非純正品のバッテリーを使用したりといった**非正規の使用**や、落下又外部から衝撃を受けるなどの**強い刺激を受ける**ことで火災の原因となります。



リチウムイオン電池関連による火災件数



▲出典
「東京消防庁 令和2年版 火災の実態
リチウムイオン電池の火災発生状況」

「PSE」マークとは…



国の定める安全基準に合格した電気製品に表示されているマーク。法律により、規制対象の電気製品はPSEマークがなければ国内では販売できません。



身の回りの家電を確認してみましょう。

火災を防ぐポイント

1. 購入する際は、電気製品が安全性を満たしていることを示す「**PSEマーク**」がついている製品にしましょう。
2. 各機器を購入した時に**付属されている充電器やメーカー指定の物**を使用しましょう。
3. 膨張、異音、異臭などの**異常が生じたもの**を使用するのはやめましょう。
4. 使わなくなった小型充電電池は、**事業団体が回収するリサイクルへ**出しましょう。
5. 地域のごみの出し方をよく確認し、**可燃物や不燃ごみなどと混ぜて廃棄するのは絶対にやめ**ましょう。



借金をするよう指示し、強引に契約を迫る手口に注意！

—「もうかる」はずが、残ったのは借金…—

「もうかる」を口車にセミナーへ参加させ、高額な受講料を払わせたり、様々な物品を買わせたりします。「お金がない」と断ると、手持ちのクレジットカードで決済させたり消費者金融からの借入れや学生ローンを組ませたり、新たにクレジットカードを作らせる等して借金を指示します。

- 借金をしてまで契約すべきものかよく考えましょう。
- 断る際は「お金がない」ではなく、「いりません」ときっぱり断りましょう。
- 借金やクレジット契約する際に、うその使用目的や、年収を申告することは絶対にやめましょう。
- 10代・20代の若者のトラブルが増加しています。**2022年4月からは18歳で成人です！**
- 「簡単」「確実」といった甘い言葉に騙されないようにしましょう。



■クーリング・オフの方法や困ったな、おかしいなと思った時はお早めにご相談ください。

消費生活相談窓口（内之浦総合支所産業創出課内）

☎0994(67)2116

消費者ホットライン☎188（土・日・祝日は県・又は国の相談センターにつながります）